

2026 年 8 月 3 日

各位



ASEAN 企業と日本企業のクロスボーダーM&A を支援する

「AtoG 2 号投資事業組合」設立のお知らせ

株式会社 AtoG Capital（以下、当社 / 本社：東京都千代田区 / 代表取締役：大槻 昌彦）は、「AtoG 2 号投資事業組合」（以下、2 号ファンド）を設立したことをお知らせいたします。

当社はこれまで、ASEAN 地域の有望な中堅・中小企業を対象に、ガバナンス体制の強化を通じた企業価値向上を支援してまいりました。1 号ファンドにおいては、マレーシアの機械商社である CK Mac Global Snd. Bhd. への投資後、ガバナンス体制の整備等を支援し、日本企業への EXIT を実現いたしました。2 号ファンドにおいても、ASEAN 企業と日本企業のクロスボーダーM&A を支援してまいります。

【設立背景】

日本企業にとって、ASEAN 地域の中堅・中小企業とのクロスボーダーM&A は、海外展開及び成長戦略を実現するための重要な手段の一つとなっています。また、ASEAN 地域では事業承継ニーズの高まりを背景に、日本企業との資本提携や M&A に対する関心が高まっています。

一方で、日本企業と ASEAN 企業との間にはガバナンス体制や、内部管理体制等において一定のギャップが存在しており、クロスボーダーM&A の円滑な実現に向けた課題となっています。

当社は、ASEAN 企業への投資を通じてこれらの課題解決に取り組み、日本企業への EXIT を実現することで、クロスボーダーM&A の成功に貢献することを目指しております。

2 号ファンドには、日本 M&A センターホールディングスの連結子会社である株式会社 J-Capital および日系金融機関が出資しており、ASEAN 企業と日本企業をつなぐクロスボーダーM&A の推進を支援いただいております。

【投資戦略】

2 号ファンドは、シンガポール、マレーシア、ベトナム、タイ、インドネシアを中心とする ASEAN 地域の中堅・中小企業を投資対象とし、日本企業との資本提携や M&A の可能性を有する企業へ投資します。

投資後は、ガバナンス体制および内部管理体制の強化等を支援することで、経営管理水準の向上を図り、日本企業による M&A に必要な基盤整備を進めてまいります。

【株式会社 AtoG Capital 代表取締役 大槻 昌彦 コメント】

1 号ファンドでは、投資先企業の成長支援と日本企業への EXIT を実現することができました。2 号ファンドにおいても ASEAN 企業のガバナンス強化を支援し、日本企業とのクロスボーダー M&A を通じた価値創造に取り組んでまいります。

【2 号ファンドの概要】

名称： AtoG 2 号投資事業組合

業務執行組合員： 株式会社 AtoG Capital

一般組合員： 株式会社 J-Capital、日系金融機関

設立日： 2026 年 8 月 1 日

投資対象： シンガポール、マレーシア、ベトナム、タイ、インドネシア等の ASEAN 各国の中堅・中小企業

【株式会社 AtoG Capital 概要】

株式会社 AtoG Capital は、ASEAN 企業と日本企業とのクロスボーダー M&A を支援する PE ファンドの運営会社です。ガバナンス強化を軸とした投資手法と豊富なクロスボーダー案件の知見を活かし、ASEAN における投資先企業の経営管理体制の整備を支援するとともに、日本企業との資本提携や M&A の実現に向けた支援を行っています。株式会社日本 M&A センターホールディングス（東証プライム上場）のグループ会社です。

<https://atog-capital.com/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 AtoG Capital 管理部 山本 info@atog-capital.com